

31 ウズベキスタン

鉄道旅客輸送力増強事業



本事業により建設された客車修理工場

[借款概要]

承諾額/実行額	6,102百万円 / 6,097百万円
借款契約調印	1996年6月
借款契約条件	金利2.7%、返済30年(据置10年)
貸付完了	2001年12月

[事業概要]

客車修理工場の建設によりウズベキスタン国内での客車修理を可能にし、スペアパーツの調達・新規客車の購入を通じて老朽化車両の更新を図ることにより、鉄道による旅客輸送力を維持・向上させるもの。

[評価結果]

本事業により、客車修理工場が建設され、2001年3月に本格的稼働を始めた。また、新規客車25両及びスペアパーツも調達された。計画時想定の種類別の修理(4～5年毎に行う電気系統の修理、20年毎に行うオーバーホール)は計画値に対して49%(2000年)、82%(2001年)、85%(2002年)の実績である。国内に客車修理工場ができたことで、外貨節約効果(年間約2百万ドル)が認められる。

一方、旅客輸送面では、近隣諸国含む経済社会情勢の変動など様々な要因により、国際旅客輸送が運行車両数含め減少傾向にあり、旅客輸送力維持の観点では効果は限定的である。

本事業の持続性・自立発展性は、近隣諸国からの注文を含む修理受注動向、国内・国際双方の旅客輸送需要等に左右される。実施機関による長期的な将来計画の立案と、傘下の客車修理工場、及び車両運行を担う旅客輸送会社の財務面の強化が期待される。